



フルートとチェロの調べ

古賀敦子 & ゲオルギー・ロマコフ

Duo concert

デュオコンサート

ドイツ本場からの響で癒しの時を



J.S.バッハ: 組曲ハ短調 BWV 997

徳山美奈子: ある蝶の一生〜チョウチョより〜

モーツァルト: アダージョ KV423

A.ヒナステラ: 二重奏曲

A.ハチャトリアン: 無伴奏チェロ・幻想ソナタ

M.ラヴェル: ソナタ 他

2016年8月26日 (金) 18時開場 18時半開演

名古屋YWCAホール

名古屋市中区新栄町 2-3 地下鉄「栄」東 5 番出口より東へ 2 分

主催: 愛実の会・名古屋ダルクチャリティー 後援: みどりファミリー

お申し込み: 090-1754-0104(島) または愛実の会 Tel052-693-5897

メールでのお申し込み: info@aminokai.com

入場料: 1500 円



古賀敦子 Atsuko Koga
(フルート)

桐朋学園音楽科高等学校で野口龍氏に師事。卒業後、パリ国立高等音楽院フルート科に入学、フルートをミッシェル・デボスト、ピエールイヴ・アルトーに師事。在学中パリ・ルーテス国際コンクールにて優勝、イタリアのイソラ・ディ・カプリ国際コンクールとトラパーニ国際コンクールで入

賞。同上音楽院はフルート科を満場一致の1等賞で卒業、同年、同音楽院の大学院(トワジエム・シークル)に進む。以降フランス国営放送のテレビラジオに定期的に出演の他、数々のフランス国際音楽フェスティバルに出演、ソリストでパリ CNSM 管弦楽団とも定期的に共演。ノルウェー、スペイン、イタリア、モロッコ、中央アメリカの各地でもソロと室内楽で活躍する。

同大学院を終了後、ドイツのケルン国立音楽大学に入学、アンドラーシュ・アドリヤンに師事。この年スペインのマリア・カナルス国際コンクールで2位入賞、併せてクラウディ・マルチネ・インゲルト賞受賞。翌年ルーマニアのジュネスミュージカル国際コンクールで優勝、同年パリ・ガストン・クリューネル国際コンクールで優勝、イタリアのカルタニセッタ国際デュオコンクール(ピアノ小倉幸子)とローマ TIM 国際コンクール2位入賞と、その他、数々の賞を受賞している。

受賞をきっかけに、ドイツのベルリン中央文化会館、ミュンヘン・ガスタイク、クロスター・エーバーバッ

ハ等各地で、続けてイタリア、オーストリアでもリサイタルを行う。ユンゲ・ドイツ・フィルハーモニー交響楽団、ホフ交響楽団、マゲデブルグフィルハーモニー交響楽団、ワイマール国立歌劇場のソロフルートと副主席を経る傍ら、ミュンヘン音楽大学国家演奏家コース終了。

2001年よりマゲデブルグフィルハーモニー交響楽団のソリストをつとめ、ドイツ MDR を中心としたテレビ、ラジオにも出演中。

これまでにマゲデブルグフィルハーモニー交響楽団、同室内交響楽団、中央ドイツ室内交響楽団、コーブレント・ヴィラムジカ・アンサンブル、ロッシェニ・アンサンブル、ブカレスト・ジュネスミュージカル交響楽団、九州交響楽団、アスカニア室内交響楽団等とも数々のコンチェルトを行いソリストとして定評を得る

また、5月に行われた無伴奏フルートリサイタルにたいし、ドイツ・ロトリンガー音楽出版社から「2008年最優秀演奏賞」を贈られた。

2007年から2016年は「シュトラッセ・デア・ロマニカ」シリーズでゲスト・ソリストとしてマゲデブルグフィルのメンバーとドイツの各地20箇所以上で共演の他、マゲデブルグフィル交響楽団、アスカニアフィルハーモニー交響楽団との定期的共演はしばしば MDR テレビで全国放送され好評を呼んでいる。

また、ドイツCD会社 Genuin からこれまでに4枚のCDがリリースされており、今年ポーランドCD会社 ANAGRAM からトリオのCDが発売予定されている。

現在ドイツのマゲデブルグ交響楽団に在籍し、ドイツ中心に活躍中。

ゲオルギー・ロマコフ (Georgiy Lomakov)

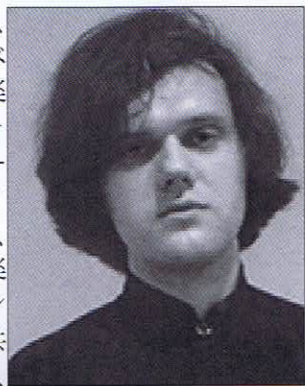
(チェロ)

ウクライナ生まれのロシア系チェリスト、ゲオルギー・ロマコフは、驚くべき数の賞を得ている。故郷のオデッサにて6歳でチェロを始め、2年後にはウズベキスタン国際コンクールで優勝。9歳でキエフの有名なりセンコ音楽学校に引き取られ、ユーリー・ポランスキーとイェレナ・チェルヴォヴァに師事する。12歳の時にクロアチア、ザグレブのアントニオ・ジャングロ・コンクールで優勝。13歳でドイツに渡り、ニュルンベルグフィルのソロ・チェリスト、ライナー・ファウペルの元で研鑽を積む。

この集中勉学中にも更なる成功を博し、ユーゲント・ミュージックフェスティバル優勝、チェコのヘラン国際コンクール優勝、またライプツィヒ・ヤング・コンサート・アーティストのファイナリストになる。ニュルンベルグ・アウグスブルグ国立音楽大学を最高点で卒業。その間彼はスイスのフェアビア・フェスティバルにてリン・ハレルとガリー・ホフマンに指示し、最高チェリストとしてフィルメニッヒ賞を贈られた。その後、ボストンのニュー・イングランド・コンセルヴァトリーにてローレンス・レッサーに師事し、2005年に最高点で卒業した。

アメリカ滞在中にダラス・テキサスでシューマンのチェロ協奏曲でデビューし、また、ミリアム・フレッドとスターン学院にて奨学生として共演する。ヨーロッパでも、ドイツ、オーストリア、ポーランドにて数々

のリサイタルを行う。また、ソリストとしてはニュルンベルグフィルハーモニー交響楽団、ニュルンベルグ・シンフォニカー、ハーゲン・フィルハーモニー交響楽団、ダラスのリチャードソンフィル交響楽団、ベルンのロマンド室内交響楽団、ミュンヘンのブルーテンブルグ室内交響楽団、等と共演。ソリスト・ディプロマを、



2005年から2007年にかけてミュンヘン国立音楽大学にてヴェン・シン・ヤングの元で得た。

オーストリアのブラームス国際コンクールにての室内楽部門での優勝後、ドイツミュージックレーベン財団の奨学生も経る。リン・ハレル、ガリー・ホフマン、ムスティラス・ロスとロポーヴィッチらに「期待の巨匠の器」と賞賛を得る。

古賀敦子とはドイツのCD会社から『ア・ミュージカル・レヴリィ』と『フルートとチェロのデュオ』の2枚がリリースされており、好評発売中。

ドイツのマゲデブルグ交響楽団と定期的にソリストとして共演しており、これまでにハチャトリアン『コンチェルト・ラブソディー』、ブラームス『ダブル・コンチェルト』、ハイドン『チェロ協奏曲ハ長調』そして2016年4月にはチャイコフスキー『ロココの主題による変奏曲』を演奏。